

鍼灸・マッサージ非適応ガイドライン

2015/10/17 改訂

災害鍼灸マッサージプロジェクト

保健師・医師へつないだ方がよい疾患を紹介します。

- 1、**広がる胸痛** ⇒ 虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞など）の疑い
 - ・ 発作性あるいは突然の出現
 - ・ 前胸部～左胸部、左肩～腕、心窩部、前頸部～下顎へと胸痛が広がる
 - ・ 胸痛＋胸やけ or 肩凝り or 歯痛も要注意
 - ・ 冷や汗を伴うと特に危険
 - ・ 吐き気が主訴のことも多い

※高齢者＋糖尿病では痛みのない心筋梗塞もある

- 2、**突発、増悪、最悪の頭痛** ⇒ 脳卒中
 - ・ 不整脈ほか心臓疾患の既往の確認
 - ・ T I A（一過性脳虚血発作）の有無を、患者さんにわかりやすい表現を用いて確認
半身の運動麻痺（半身にうまく力が入らない）、感覚鈍麻、失語症、片眼の視野障害
めまい、構音障害、複視、意識障害を伴わない下肢の脱力による転倒
 - ・ バレー徴候の確認
 - ・ neck flexion test：くも膜下出血（S A H）を鑑別
→自発的に頸部を前屈させ、下顎が胸まで十分に近接するようであれば陰性

- 3、**突然の高熱、39℃以上、悪寒、筋肉痛** ⇒ インフルエンザの疑い

- 4、**吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、(発熱)** ⇒ 感染症の疑い

- 5、**黄褐色の痰、発熱** ⇒ 肺炎の疑い

- 6、**2週間以上続く咳、血性痰** ⇒ 肺結核の疑い

- 7、**ぐったりしている、尿が少ない or 濃い、皮膚をつまんで戻らない** ⇒ 脱水症の疑い

- 8、**パニックなど明らかな精神症状、強い不安感、1か月を超える不眠、著しい体重減少、自殺のおそれのある人** ⇒ 心のケアへ

※専門家に対応を依頼する際には、被災者へ、気づかいを伝えながら紹介する理由を説明し、同意を得るようにしましょう。

※既往歴、現在治療中の病気、服用中の薬に注意しましょう。

参考 (社)日本老年医学会「一般救護者用・災害時高齢者医療マニュアル」